

ミュージアムの持つ可能性を知る ミュージアムが都市を再生する ー経営と評価の実践ー

著者：上山信一・稲葉郁子 発行：日本経済新聞社／平成15年（2003年）12月発行



都市のミュージアム（美術館、博物館、水族館、動植物園、科学館、プラネタリウム）がどのような役割を持つか、ということから本論は進んでいく。

時に「ハコモノ」といわれて税金の無駄遣いの代表のようにいわれるミュージアムであるが、現代社会においてその主な役割は、収蔵品の研究や収集、

維持管理のみだけではない。

ミュージアムを核とした都市再生が世界各地で成功を収め、国内でもこうした動きに注目が集まっている今、ミュージアムが人々の持つ潜在能力を引き出し、社会を変えていく力となることができるか、海外の事例とともに分析しその方策を示している。

毎号、いろいろなメニューが楽しめる

「らしっくCafé」。

コーヒーの代わりに生涯学習や

市民活動に役立つ本やHPなど、

いろんな情報をご用意して、

みなさまのご来店をお待ちしています。

さて、今回のご注文の品は…？

7つの現場から生まれた9つの原則 創発まちづくり ー動く・繋がる・生まれるー

編著：和田崇 発行：学芸出版社／平成17年（2005年）12月発行



「創発まちづくり」とは、異なる価値観や能力を持つ人々が、相互作用を通じて刺激しあい、新しい価値観やアイデアを「創」造するとともに、具体的活動を誘「発」していくようなまちづくりを表現したものである。本書は、まちづくりに関わる研究者やコンサルタント、メディア、行政

職員が、自ら手がけてきた事例に基づき、そのエッセンスをまちづくりの姿勢として「九原則」にまとめたものである。従来まちづくりに関わる書籍といえば、東京や大阪などで活躍する専門家が執筆していることが多いが、本書の執筆者は広島に住み、そこを拠点に活動している点において、地方のまちづくりのバイブルとして身近に感じるはずである。

※ここで紹介している本は、まちづくり市民交流プラザ3階図書閲覧コーナーでご覧になれます。

地域と商店街のあり方を考える スーパーおやじの 痛快まちづくり

著者：安井潤一郎 発行：講談社／平成11年（1999年）8月発行



1996年に著者が会長を務める早稲田商店会で開催された、「エコサマー・フェスティバル」は単なる商店街の取り組みにとどまらず行政やNHKなどを巻き込んだ一大イベントとなった。

商店街が中心の企画となると、どうしても「商売」が優先されてしまうのが普通だが、「環境問題を口実にすると役所の補助金を使い放題」という入れ知恵がきっかけで、本当に「環境と共生」を主要テーマにしたことが、この企画を発展させていくことになる。

街づくりというと行政の専売特許のようだが、こうした商店街の活動が実を結び、町を変えていってしまう、変えることができる、という好例である。



歴史・文化を生かす にぎわいを呼ぶイタリアのまちづくり ー歴史的景観の再生と商業政策ー

著者：宗田好史 発行：学芸出版社／平成12年（2000年）1月発行

イタリアのまちづくりが成功した背景には、歴史的景観と地域コミュニティを守るためのさまざまな施策にあった。広告物の規制や、新しい建築材料の使用制限などが、イタリアの歴史的地区にどのような景観形成をもたらし、どのような人口変化を起こしたかなど私たちが学んでおきたい事例が紹介されている。

日本の町並みの景観形成がいかに周囲との調和を考えずに進められているか、私たちの景観に対する考え方がいかに寛大かということに気付かせてくれるとともに、地域住民が「自分たちの街の歴史や文化は財産である」という意識を持つことが、まちづくりにとっていかに大切なかを教えてくれる本である。



広島ของบริษัทが市民の“エンジョイ”を応援してくれる、おもしろスポットをピックアップ！

ひろしまの会社のおもしろPスポット

見学・体験スポット

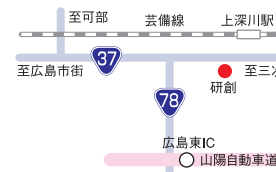
普段は気にも留めていない物が、意外に身近な存在だったりすること。今回の「見学・体験スポット」は、新鮮な驚きや発見に出会える場所です。

意外な発見あり！ 株式会社研創

研創は、企業やビルの金属製看板・案内標識などの企画・設計・製造を手がけ、企業向けサイン業界の国内シェア60%を占めています。街中の至る所で目にする看板・標識が、どのように作られるかを、ここで見学することができます。

また、会社は働く場所だけでなく、学ぶ場・憩いの場であるとの考えのもと、ゆとりのスペースがこちらに設けられています。工場内では、精密機械が動いている側で、人の手による細やかな作業中。その高度な技能を磨くため年1回社員作品展が開かれ、優秀作品はロビーに展示されます。精巧に作られた金属のウクレレや基盤、三輪車などに、訪れる人の目は釘づけになってしまいます。

【問合せ】☎082・840・1001



住所：広島市安佐北区上深川町448



中国新聞広島製作センター「ちゅーピーパーク」は、平成17年（2005年）11月、広島市の対岸廿日市市大野に誕生しました。三原で製造された4台の巨大輪転機は宮島の大鳥居とほぼ同じ大きさで、1時間当たり18万部という世界最速の印刷能力があります。

また、新聞の印刷から発送までの工程を見学できただけでなく、見学記念の「マイ新聞」が作成できるコーナーや楽焼、紙すき体験コーナー、新聞配達ゲームコーナーなどがあり、大人も子どもも見学で、楽しめるよう工夫されています。

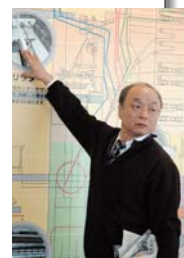
新聞製作の裏側を見ることが、毎朝当たり前前に読んでいる新聞への考え方が変わってくるかもしれません。

入館は午前10時から午後5時まで（入館無料、月曜休館）。10人以上の見学は予約が必要です。

【問合せ】☎0829・50・2866



住所：廿日市市大野387-3

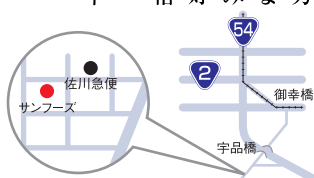


プロに教わる、お好み焼き術 サンフーズ株式会社

人口二人あたりのお好み焼き店の軒数が、日本で一番多いという広島県。そんなお好み焼き好きの広島県人なら、一度は自分で焼いてみたいもの。お好みソースを製造販売しているサンフーズでは作る楽しさも知ってもらうため、お好み焼き体験実習を行っています。プロが作り方をやさしく指導してくれ、楽しく作ることが出来ます。お好み焼きをひっくり返す時、野菜が少々はみ出ても、すぐ直してもらえると大丈夫。作ったお好み焼きは、最後に試食。自分で焼いただけに、味も格別。家族での参加も多いそうです。

小学生以上1050円（お土産付）、10人以上で申し込んでください。

【問合せ】☎082・250・2511



住所：広島市南区出島1-26-1

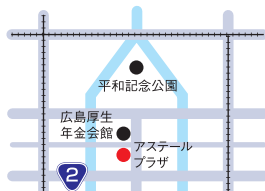


生演奏の魅力を多くの人に 広島交響楽団

広島交響楽団は、8月と12月を除く年間10回の定期演奏会の練習を公開しています。小学生以上なら誰でも見学可能。指揮者と楽団員が、本番に向け曲を完成させていく様子、いわば広響の舞台裏を見ることが出来ます。

見学は無料で、時間内の出入りも自由。「クラシックは堅苦しい」「子どもを連れて演奏会に行きづらい」と思っている人も是非どうぞ。気軽に生演奏を味わうことができます。これからの練習日程は、広報事務局までお問い合わせいただくか、公民館等に置いてあるチラシをご覧ください。

【問合せ】☎082・544・2900（広報事務局）



住所：広島市中区加古町4-17





図書目録はもちろん、さまざまな知りたい情報をパソコンによって検索することができます

のサービスは、図書館司書が行う人的援助サービスです。
受けるご相談内容も多岐にわたっており、「ダチョウを飼いたいけれど、どうやって飼うの?」「小学校で読んだ本をもう一度読みたい」など、さまざまです。それに対してできる限りのサポートをさせていただいておりますが、営利が目的の相談には応じかねることもあります。

生涯学習講座にはどんなものがありますか

県立図書館は、あくまでも所蔵資料をどう生かすかという視点で利用



レファレンスカウンターでは「何をどう調べたらいいかわからない」「こういう資料が欲しい」などの相談について、さまざまな方法で手がかりを調べてもらえます

者の手助けをする機関です。図書館の使い方の講座、読書普及につながる講演会などが中心ですので、他の生涯学習センターとは少し趣が異なります。
県立図書館中・高校生ボランティア「来いぶらり・フレンズ」は中・高校生による図書館ボランティアです。小学生が図書館を利用する際の手助けをする「館の使い方サポート」や絵本の「読み聞かせ」などをボランティアで行っています。
図書館の中の図書館というスタンスで県内の各図書館と密接な協力関係の構築に努めています。

広島県内の図書館サービスネットワークの情報拠点である広島県立図書館



えいち
「H」……それは“英知”すぐれた知恵であり、“叡智”深遠な道理をさとりうる優れた才知でもある。生涯学習のある暮らし、そんな広島の“H(えいち)”をお届けするコーナー。今回は、「来(ら)いぶらりネット」を展開する広島県立図書館の稲田館長、黒川調査情報課長、福田係長からお話を伺いました。

エイチ・キャンパス Campus

新時代の情報拠点をめざして

広島県立図書館

来いぶらりネット

— 広島県立図書館が果たしている役割には、どういったものがありますか
生涯学習の中核施設として、広く県民の皆さんの読書活動や調査研究活動の支援に必要な情報や資料を収集・整理・保存し、資料の提供や情報の発信をします。それと同時に、県内における公立図書館等との広域ネットワークによる相互協力体制を充実して、県内全域にわたる図書館サービスネットワーク推進の中心的な情報拠点となっています(現在県内85の図書館とネットワークでつながっています)。

— 活動の中心でもある「来いぶらりネット」とは、どういったシステムですか
県内の市・町立の図書館など、関係



黒川調査情報課長(右)と福田係長(左)

機関向けのホームページを開設し、広く県域図書館のネットワーク化を進めています。その中心的手段が「来いぶらりネット」です。このシステムの中心となっているのが、県立図書館が所蔵する資料を含め、各図書館が持つ資料を総合的にインターネットで検索できる、総合目録検索システムなのです。この目録検索は、インターネットで公開されています。これを利用すれば、県民は「いつでも」「どこでも」求めている本の情報が手に入ります。約50万冊の図書目録データを見ることが

ができます。昭和63年(1988年)に現在の場所に移転したのを機に、システムの電算化が進められてきましたが、この「来いぶらりネット」は平成14年(2002年)9月から稼働を開始しました。このシステムの構築により、広島県のどこの地域に住んでいても、わざわざ図書館に足を運ぶことなく自宅で図書目録データベースを検索することができます。

必要な図書資料の利用が可能になりました。



稲田聖三館長

— こちらでは「レファレンスサービス」というものを行っているのでしょうか?
来館者の調査研究を手助けするサービスです。調べたい事柄がはっきりしなかったり、必要な資料が見つからなかったりといった場合、窓口で図書館資料やインターネットなどを駆使して、そうした相談に対応・お調べするサービスです。当館の資料だけで対応できない場合は、国立国会図書館や県内外の公立図書館、大学図書館などの協力を仰ぐこともあります。これら

講座案内

平成18年度
(財)広島市ひと・まちネットワーク生涯学習プログラム

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
インテンシブ英語			1期募集	1期パソコン学習		2期募集	2期パソコン学習					
シティカレッジ	前期募集	前期7講座		後期募集		後期7講座						
エルネット	地域における教育情報をプラザ1Fロビーのテレビで放送!平日午前10時~正午、土曜午後1時~5時	前年度人気番組リクエスト放送(約100番組予定)				今年度新規に収録する最新講座放送(約100番組予定)						
大学公開講座	市立大学国際・情報・芸術学部、平和研究所との連携や各大学独自の公開講座の誘致により、大学講座、研究発表、芸術展示を随時開催します											

※受講生の募集は広島市の広報誌「ひろしま市民と市政」などで随時お知らせします。会場は市民交流プラザです。

子どもたちにバルーンアートを指導する小林さん

こばやし しげこ
小林繁子さん

マジック、バルーンアート、伝承遊び

将来を支える世代を大事に

マジックのできる保育士さん

マジックやバルーンアートのほか伝承遊びや南京玉すだれの実演など、レクリエーションに関するたぐさんのレバートリーを持つている小林繁子さん。普段は保育士として活躍しています。昨年12月17日、梅林小学校区子ども会のクリスマス会ではマジックとバルーンアートを披露しました。

カルチャーセンターと百貨店

「マジックを始めるきっかけは、保育科の学生だったころ、教育実習で子どもたちを引きつける何かがほしいと思ったから」と小林さん。カルチャーセンターの手工教室や百貨店の手品用品売り場へ足しげく通い、マジックの魅力に引かれていくうちに「広島奇術クラブ」の会員になったそうです。「マジック

クのレバートリーは？」との質問には「100か200か…」と、子どもたちに喜んでもらえるよう、日々新しい技を練習しているとのことでした。

自分を「脱皮」したかった

たくさん子どもたちとの日々を保育園で過ごす小林さん。職場しか知らず、視野が狭くなりがちな状況から自分自身を脱皮したいという思いもあり、異業種交流会などにも参加しているそうです。今では岩国や呉へも活動の範囲が広がり、月に1回程度は実演に出かけるほどの忙しい毎日をごしています。

優しさや思いやりを忘れない

小林さんが実演に行くときよく子どもたちから声をかけられるそうです。取材当日は12月にしては珍しい大雪となつて、会場への到着が遅れてしまった小林さん。ユニモアを交えながら小さな子どもにも分かりやすい言葉で状況を説明すると、1年生の女の子が「無事にたどりついてよかったね」



額縁の中の絵が消えるマジック

と言って喜んでくれました。実演を見ながら天真らんまんに喜びを表現し、思いやりのある言葉をかけてくれる子どもたちの姿を見ると、将来を支える世代と真剣に向き合い、本気で接する喜びを感じることができるといいます。

仕事以外の何かに挑戦

ここ最近広島市周辺でも子どもを狙った物騒な事件が起きました。このことで地区の行事が中止を余儀なくされ、子どもたちと楽しむことができなくなつてしまつたこともありました。「このような事件が起らないためにも、わが子だけでなく周りの子どもも支えていく気持ちをみんなで作れば」と小林さん。

また「自分の仕事以外に次世代のためにできることを見つけてもらえれば」と話し、優しさの中にも真剣味あふれる言葉が印象に残りました。



男の子にバルーンをプレゼント

インドと広島シマの架け橋に

広島で始めた新たな活動

インドの南部ケララ州で生まれたジェームス ジョーセフさんは、ニューデリーの大学で日本語を学び来日。仕事の傍ら勉強を続け、流暢に日本語を話せるようになり、同時に日本への理解を深めていきました。14年前に家族で広島に来たことをきっかけに、会社と家庭の往復だけでなく、多くの人と知り合いになれる活動がしたいと考えようになりました。8年前、ボランティア総合支援センター（まちづくり市民交流プラザの前身）設立の話を聞いた時、さっそく登録。

それからは、自分とインドを知ってもらいたいと講演活動が続けています。昨年の12月14日には牛田小学校で、4年生の児童約190人にインドの生活・文化について話をしました。

まだ知られていないインド

「インドは日本と比べて、人口も面積も約9倍です」「インドと言えば暑い国というイメージがありますが、ヒマラヤ山脈の近くの地域は寒いですよ」といった話に驚く子どもたち。講演後の質問では「インドはお釈迦様が生まれた国



インドの伝統衣装クルタ・パジャマの試着も

なのになぜ仏教徒は少ないの？」とジェームスさんがすぐに答えられないような難しいものも飛び出しました。小学生からは「今日習ったことがいつかインドに行つた時、役に立ちそう」との感想も聞かれました。

国際化が進んできたと言われる昨今でも、なかなか外国人と触れ合う機会はありません。今日の経験で、子どもたちに自分が知らない、日本以外の世界への関心が芽生えたのではないのでしょうか。

国籍は違っても同じ人間

インドに関する講演 ジェームス ジョーセフさん

ジェームスさんは、人材バンク以外にもいろいろな活動をしています。平成17年（2005年）中国新聞が主催する「広島世界平和ミッ



「外国人への抵抗が少なくない」子どもと握手するジェームスさん

ション」に参加し、インドを訪問しました。インド人である自分が参加することで、より深い市民同士の交流ができるのではないかと思つたからです。

「第二の故郷ともいえる広島は、大きすぎず小さすぎず、今の自分が活動するのにちょうど良い」とジェームスさんは言います。「自分1人の力は小さく、できることに限りがあるかもしれない。しかし今後も活動を通じ『国は違っても人間同士話しあえば、共感できる』と訴えたい」と話してくれました。

Information

- 今回「達人図鑑」でご紹介している方々は、「ボランティア人材バンク」に登録されています。
- ボランティア人材バンクでは、「仕事や学習、趣味などで得たノウハウを生かして、ボランティアで依頼団体に助言や指導、さらには技の披露などを行う人」を登録しています。紹介申込・登録申込などの問合せは…まちづくり市民交流プラザ ☎082-545-3911 ☎082-545-3838

子どもたちの質問に笑顔で答えるジェームスさん



まちづくりファシリテーターへの応援メッセージ

理論や理屈よりも、現場や事実で学び・従うこと。
そして、ハートは熱く、頭は冷静に！
ファシリテーターはワークショップのサポーターです。
主役の参加者が参加意欲や達成感を持てるようにしていきましょう。
—講師陣から—

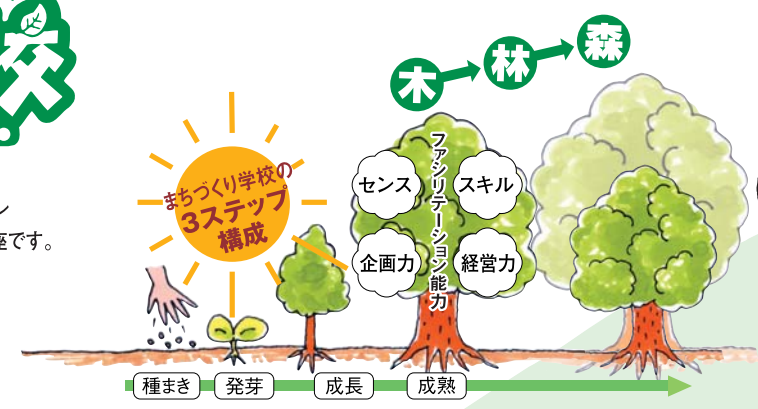
岩田幸一さん 福田由美子さん 中倉勇さん 奥田祐子さん 下田卓夫さん 氏原睦子さん 志賀誠治さん 宮本茂さん 松田智仁さん

ひろしままちづくり学校

まちづくり活動に参加している人・参加したい人集まれ！

●まちづくり活動を進めたい人のためのファシリテーター育成セミナー●

さまざまなまちづくり活動の場で役立つファシリテーション技術を、3カ年にわたり継続してステップアップしていく講座です。



今回は、まちづくりの助っ人をめざすまちづくり学校生を一挙、ご紹介します。

まちづくり学校へ行こう

第七巻「まち学生 まちへ飛び出せ！」の巻

福馬 晶子さん
アイデアいっぱいのサポーター

倉本 須美子
【カープと市民球場はみんなの宝物】

あきらめずにベストをつくそう!
まち学での経験を生かして、みんなで「まち」を元気にしていきたい

山縣 真紀子
【HOT (ほっとびと)】

Imagine
ジョン・レノンのこの曲のように、認めあい、わかちあい、一つに結ばれるまちづくりを目指して!

山崎 勇三
【広島県余暇プランナー協会】

町づくりは人づくり!
「気楽に参加楽しく地域貢献」

まち学のノウハウは「へその町PJ」「大人の隠れ家作りPJ」「団塊世代の定年戦略セミナー」などで活かしています

多田 修一郎
【海老山と遊ぼう会】

It's my pleasure!!
人のため、まちのため、自分ために喜びを感じることを忘れない

伊東 賢治
【海老山と遊ぼう会】

明るく、楽しく、元気よく
まちづくりに一番大切なのは人同士のコミュニケーション

身近な相談役
ちょっと困った時・疲れた時に立ち寄って、元気を回復してください

ピンチはチャンス
人と人をつなぐこと。場に参加している人の良さや想いが引き出されること。それがテーマです

夢が実現するまちづくり
一人一人の夢が実現する、そんなワクワクするまちづくりを支援したい

つなぐ・結ぶ・拓く
ファシリテーションで、ソーシャル・キャピタル(社会関係資本)を創り出します

仕事とまちづくり活動の両立を目指します
そのまちで働く人々こそまちづくりの貴重な担い手! 生活の場であるまちの魅力をみんなで再発見できるよう、働きかけます

山陽道、ふるさと山河の日々
幼い頃歩いた故里の山河(瀬野川、山陽道)。弥生時代に集落があった瀬野の独自の歴史と文化を伝えたい

背中、押します
苦しくも楽しい「まちづくり」活動。歩き出さなくなったら、ささやかですがお手伝いします

人の数だけ智慧がある
1人ひとりが持っている力が生かせる、そんなまちづくりができれば...「誰かが」つくるまちづくりから「自分も」つくるまちづくりへ

目標をもって毎日を生き生きと生きる
みんなが「住みよい街づくり」に向けて一歩ずつでも進んで、「住みよい街」ができることを願っています

慈悲・幸せ探しの平和創造のまち育て
まち育ては、生命を育み次世代へ繋げていくもの。生涯学び、協働し実践し続けたい

ひととひととのホットなおつきあい
ひろしまの数知れない資源(人間力、歴史、文化、町並み、ネットワーク...)を通じてひととひととの交流の場をつくる